

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			適切。必要に応じて職員が介助している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			回覧や月に1回のカンファレンスなどにより、職員間の共通理解に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			2025年3月に実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。2025年5月公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		月に1回のカンファレンスを実施。全職員に向けた研修を実施。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		口頭や文書で保護者と本人の意向を確認し、計画の作成をしている。子ども自身のニーズの把握の難しさがある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		活動プログラムは、職員個々がリーダーとなり製作、クッキング、外出など行っている。チームとしての立案となると課題がある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		季節の行事や工作、クッキング、外出活動を取り入れている。職員の体制や子どもの様子によって活動の幅が広がらないことが課題。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		1日のスケジュールは決まっている。そこに季節の行事や個別・集団活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			口頭や連絡ノートを活用をして、共有に努めている。不在の職員への連絡を徹底していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記入方法や客観的な視点など今後も職員間での意識の共有に努めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		行っているが、学校との連携が難しいと感じることもある。今後も連携に努めていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			保護者を通じて連携を図っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修などに可能な限り参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は行えていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		可能な限り参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート、送迎の際、また面談を行い、共通理解に努めている。LINEの活用をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		傾聴の姿勢で保護者との関係づくりに努めているが、課題が残る。今後検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			傾聴の姿勢で適切に応じるように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は行えていない。今後必要に応じて検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			適切に対応するように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一回お便りを配布して活動内容を伝えている。LINEを取り入れている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員には周知しているが、新職員、保護者への情報共有が課題。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員の振り返りのためにセルフチェックを年に一回行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束についての書類は整えている。車いすのベルト等の装具の使用については安全対策として同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有に努めている。 新職員の共有が課題。